

10・11月のおはなし会

としょかん	おおきいひとのじかん (しょうがく2~6ねんせい)
10/6(日)「ついでにペロリ」ほか	じかん：3じ~3じ30ぷん 11/17(日)「小鳥になった美しい妹」ほか
きたぶんかん	じかん：3じ~3じ30ぷん
10/12(土)「カボチャの種」ほか	11/9(土)「五分次郎」ほか
みなみぶんかん	じかん：3じ~3じ30ぷん
10/26(土)「ラプンツェル」ほか	
いこまえきまえ としょしつ	じかん：3じ~3じ30ぷん
10/26(土)「チム・ラビットとキツネ」ほか	11/30(土)「小石投げの名人タオ・カム」ほか

としょかん  
図書館のコンピュータが

あたら  
新しくなるよ!

れいわ 2年1月に図書館のコンピュータが新  
しくなります。

図書館のホームページや館内で本をさがすた  
めのコンピュータ(OPAC)も新しいデザインに  
なって、使いやすくなります。



OPACキッズトップメニュー(イメージ)

こんなことができるよ!①

どくしょ  
読書メダル

本をかりるごとに、  
メダルがたまっていくよ。  
本をさがすためのコンピュータ(OPAC)  
で確認してね。



こんなことができるよ!②

どくしょ  
読書きろく

本前にかりたけど、本の名前をわすれて  
しまったなんてことないかな?  
自分がかりた本のきろくを取ることが  
できるよ。

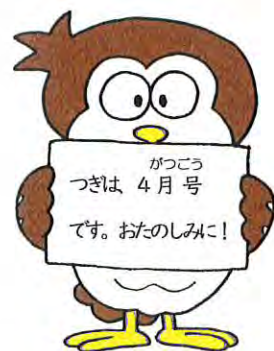


■□■□■□■2019年10月~2020年3月のおやすみ■□■□■□■

毎週月曜日、館内整理日(10/4、11/1、12/6、2/7、3/6)  
年末年始(12/28~1/4)、特別整理期間(1/14~1/27)

☆祝日は全館開館(9:30~17:00)します

2019年 10/14(月)、10/22(火)、11/3(日)、11/23(土)  
2020年 1/13(月)、2/11(火)、2/23(日)、3/20(金)



ふくちゃん新聞

2019.10.1 No.153-②(2年生~)

発行：生駒市図書館 生駒市辻町238番地 ☎0743-75-5000 <http://lib.city.ikoma.lg.jp/>

まほうつか  
『オズの魔法使い』

L・F・バウム/作 渡辺茂男/訳

W・W・デンスロウ/画

[福音館書店]



ドロシーは、お百姓のヘンリーおじさんとそのおくさんのエムおばさん、犬  
のトトといっしょに、カンザスの灰色の草原にある小さな家に住んでいました。  
ある日、おおきな竜巻がやってきて、ドロシーとトトがいる家を持ちあげて、  
何マイルも何マイルも遠くへはこんでしまいました。

家が飛ばされてたどりついたのは、オズの国にある美しいマンチキンの国で  
した。ドロシーがびっくりしていると、三人のマンチキンと北のよい魔法が  
やってきました。家の下敷きになって東の悪い魔法が死に、マンチキンたちは  
自由になったので、そのお礼を言いにくたのです。そして北のよい魔法は、死  
んだ悪い魔法が自慢していた魔法の銀のくつをドロシーにくれました。

ドロシーは、カンザスにもどりたくて帰り道を聞きましたが、だれにもわかり  
ません。けれど、エメラルドの都にいるえらい魔法使いのオズ大王なら、  
きっと助けてくれるだろうと教えてもらいました。ドロシーは、旅の途中で脳  
みそがほしいかかし、心臓がほしいブリキのきこり、勇気がほしいおくびょうな  
ライオンと出会って仲間になり、一緒にオズ大王に会いに行くことにしました。

# 『魔女ファミリー』

エレナー・エスティス／文  
エドワード・アーディゾーニ／絵  
井上富雄／訳 瑞雲舎



エイミーは意地悪な魔女ばあさんを、絵に描いたガラス山へ追放しました。ばあさんは山で、ちび魔女と魔女の赤ちゃん、しゃべれるマルハナバチと暮らしはじめました。エイミーはばあさんに、いい魔女でいたら、ハロウィンの夜に、山から下りてきてもいいと、手紙を書くのですが……。  
さあ、ハロウィンの夜、何かがおきますよ。

# 『黒ねこの王子カーボネル』

バーバラ・スレイ／作  
山本まつよ／訳 岩波書店



ロージーは、市場でへんてこなおばあさんから、ほうきと黒ネコを買いました。すると買った黒ネコから話しかけられてびっくり！実は黒ネコは、魔女にさらわれ、自由をうばわれたネコの王子だったのです。ロージーは魔法をといて、黒ネコを助けることができるのでしょうか？

# ほん まほう せかい 本をひらけば魔法の世界



# 『アラジンと魔法のランプ』

アンドルー・ラング／再話  
エロール・ル・カイン／絵  
中川千尋／訳 ほるぷ出版



アラジンは、ずるがしこい魔法使いを出し抜いて、のぞみをかなえてくれる魔法のランプを手に入れました。ランプをこすると魔人があらわれ、アラジンは魔人の力をかりて、お姫さまと結婚しました。それを知った魔法使いは、アラジンの留守中にランプをうばい、宮殿ごとお姫さまをさらって行ってしまいました。

# 『魔女の宅急便』

角野栄子／作  
林明子／画 福音館書店



キキは人間と魔女の間に生まれた女の子です。13歳の年の満月の夜、キキは魔女になる決心をして、黒猫のジジと修業に旅立ちます。たどり着いた海辺のまちで、キキは空飛ぶほうきでとどけものをする「魔女の宅急便」のお店を開店！新しいまちでの出会いは、キキをどんな魔女に育てるでしょう？

# 『魔法使いの本』

ルース・マニング＝サンダーズ／著  
西本鶏介／訳 ブッキング



ある貧しい若者が、魔法使いと知らずに老人を助け、そのお礼に変身できる力をもらって国を救う「一枚の銀貨」。魔法の腕くらべがゆかいな「二人の魔法使い」など、魔法使いが出てくるお話が11話入っています。もっと魔法のことを知りたくなったら『魔女の本』もおすすめ。

まだまだあるよ  
まほう ほん  
魔法の本

『きかせたがりやの魔女』 岡田淳／作 はたこうしろう／絵 偕成社

『犬になった王子 チベットの民話』 君島久子／文 後藤仁／絵 岩波書店

『ぼくのつくった魔法のくすり』 ロアルド・ダールコレクション10

ロアルド・ダール／著 クエンティン・ブレイク／絵 宮下嶺夫／訳 評論社

『まほうのスープ』 ミハヤエル・エンデ／文 ティーノ／絵 ささきたづこ／訳 岩波書店

『小さい魔女』 オトフリート＝プロイスラー／作 大塚勇三／訳 ウィニー＝ガイラー／画 学研教育出版

ここで紹介した本は、図書館（本館）のふくちゃん広場、分館・分室の特集コーナーにあります